

令和7年度【2025年度】

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1034
施設名	江東湾岸サテライトスマートNS
施設所在地	江東区有明1-5-22
法人名	社会福祉法人高砂福祉会

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

植物

<テーマの設定理由>

園には広い園庭があり、日差しや季節の変化を日常的に感じられる環境が整っている。これまで花や種の観察などを行う中で、実際に花を育ててみたいといった声や猛暑の中で気温や光に関する素朴な関心が生まれていた。子どもたちが身近な自然の変化を感じ取りながら、その不思議さを探究し、考えを深めていけるようにしたいと考えた。

### 2. 活動スケジュール

令和7年6月～令和7年9月まで、毎日植物への水やりを行いながら活動した。

- ・6月：絵本や図鑑を用いて花や植物をリサーチし、興味を引き出した。
- ・7月：子ども自身が好きな種を選んで栽培を開始。図鑑などをあえて使わず、それまでに得た知識や体験をもとに活動できるようにした。
- ・8～9月：毎日の水やりを継続し、毎週水曜日にはそれぞれの植物の成長を確認し合い、違いに気づいたり共有したりする時間を設けた。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子ども一人ひとりに責任感をもって植物を育てられるよう、個別のタンブラーを用意した。牛乳パックを再利用した容器に土と種を入れ、ジョウロで水やりをできるようにしたことで、自分専用の植物として大切に世話をする姿が見られた。また、一人ひとりが異なる植物を育てることで、見せ合いながら関わりが自然に生まれる環境を整えた。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

子どもたちが自分の育てる植物の発芽に注目し、「どうしたら芽が出るのかな?」と考えながら取り組んだ。日向や日陰など置き場所の違いにも気づき、どこに置くとよいかを自分で考えた。発芽後は毎日水やりを行い、水曜日には皆で成長の様子を観察し合うことで、違いに気づいたり友だちの育て方と比べたりする機会を持った。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子どもたちは花や植物に強い関心を示し、意欲的に活動に参加していた。毎日「どうなったかな?」と自分の植物を観察する姿が多く見られ、置き場所についても自分たちで考え工夫する様子があった。中には本や図鑑を参考にしたり、家庭で話しをする子もいた。普段は内向的な子どもも「お水はこのくらいあげるんだよ」と家庭で学んだことを友だちに伝え、自然に交流が広がる姿があった。これまであまり関わりのなかった子同士も声をかけ合うようになり、活動を通して子ども同士の関わりが深まった。



##### <振り返りによって得た先生の気づき>

お子さんの意外な一面が見れたりとても良い活動になりました。天候でなかなか思うような活動まで持って聞くことはできませんでしたが、お子さんは楽しそうに参加できていました。また、設定保育が多い法人で自分で考える時間はお子さんの為になったなと思いました。1～お子さんの考えてもらうように今後は活動も工夫をしていきたいと思います。園児数も多いため今回は個人のプランターを用意したがグループにしての活動のお子さん同士のコミュニケーションの場としてはよかったのではないかなと思います。これらの気づきを通して、お子さん同士のコミュニケーションの場であったり、主体性は引き出していたり、環境を作らないとできないなと感じました。また、振り返りの時間をなかなか作れていなかったなので、今後の保育では振り返りも十分に意識していきたいと思いました。